

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) No335

(中教審教育課程企画特別部会)

次期学習指導要領の改訂審議第4回/6回ふり返り(2025年3月28日/4月25日開催)

- ①「裁量的な時間」創設可の柔軟な教育課程
- ②「学びに向かう力、人間性等」の発展的提案

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

<https://smizok.com/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の研究委託を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

● 教育課程部会 教育課程企画特別部会(第4回)の開催について

中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会教育課程企画特別部会(第4回)を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

1. 日時

令和7年3月28日(金曜日)13時00分～16時00分

2. 場所

WEB会議と対面による会議を組み合わせた方式

3. 議題

1. 多様な子供たちを包摂する柔軟な教育課程の在り方について(1)
 - 学校、教育委員会からの事例発表(4事例)
 - 奈須委員からの発表
2. その他

No320

(中教審教育課程企画特別部会第2回) (2025年2月17日開催)

ふり返し)

まず第一弾の指導要領改訂の 構造が見えてきましたか

溝上慎一

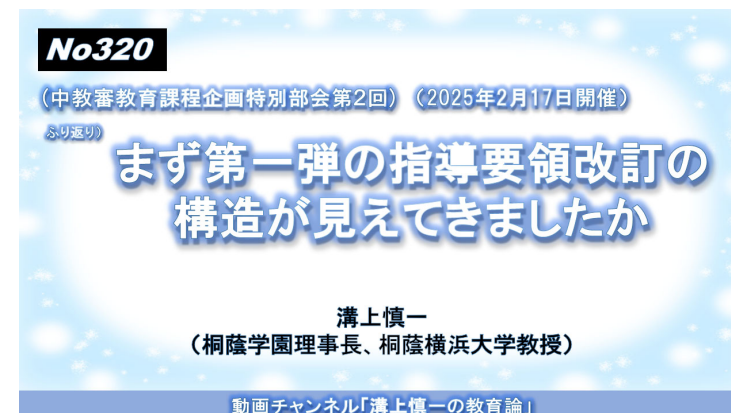
(桐蔭学園理事長、桐蔭横浜大学教授)

動画チャンネル「溝上慎一の教育論」

所感

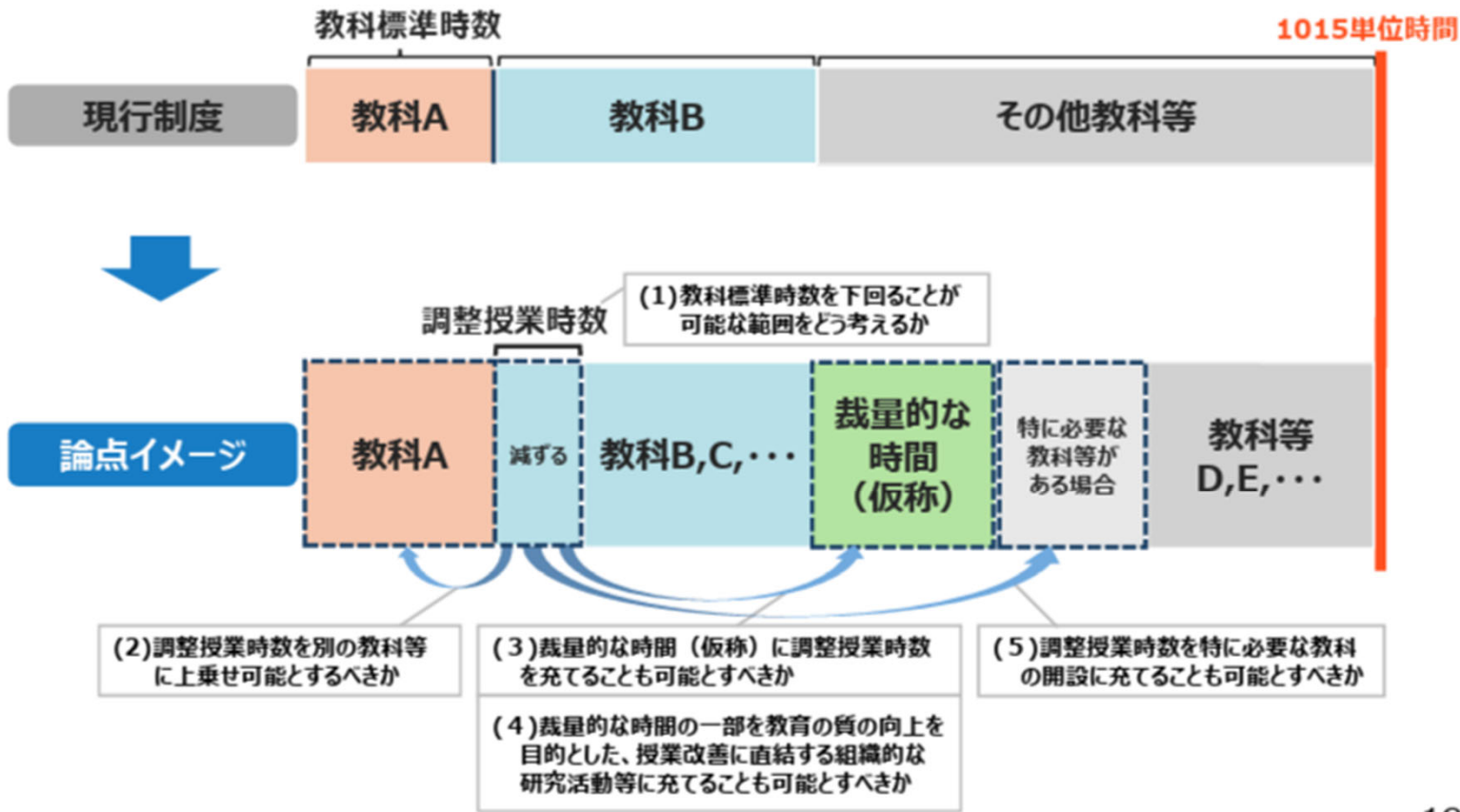
- 指導要領改訂作業の第一の難所は、**教科書**の再構造化である
 - ＞分量（ページ数）
 - ＞学習指導要領コード、デジタル教科書の扱い
 - ＞指導書、問いやQRコードの意義

- 改訂指導要領（案）は、**教師の概念的指導力**の発揮を前提とする
 - ＞これまでの「〇〇の学び」を基礎として発展させる。教師はもっと我がごとの理解に至るまで学ぶ必要がある
 - ＞教材研究、研修時間のカリキュラム内で確保すべき
 - ＞この問題を、教育課程編成や授業時数取扱いの弾力化で対応すべきではない



柔軟な教育課程の論点イメージ

多様な個性や特性、背景を有する子供たちを包摂する柔軟な教育課程編成を促進するため、児童生徒や地域の実態を踏まえて、必要に応じて以下のような取組の一部又は全部の実施を可能とするか否か。



● 教育課程部会 教育課程企画特別部会(第6回)の開催について

中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会教育課程企画特別部会(第6回)を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

1. 日時

令和7年4月25日(月曜日)15時30分～18時00分

2. 場所

WEB会議と対面による会議を組み合わせた方式

3. 議題

1. 学習指導要領の構造化を進めるに当たっての諸論点について(「学びに向かう力、人間性等」の在り方等)
2. デジタル学習基盤と「個に応じた指導」の在り方について
3. その他

【別紙】 学びに向かう力、人間性等の今後の整理イメージ（素案）

【現行の整理】

小学校学習指導要領総則解説（抜粋）

児童が「どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか」に関わる「学びに向かう力、人間性等」は、他の二つの柱をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素である。

（中略）

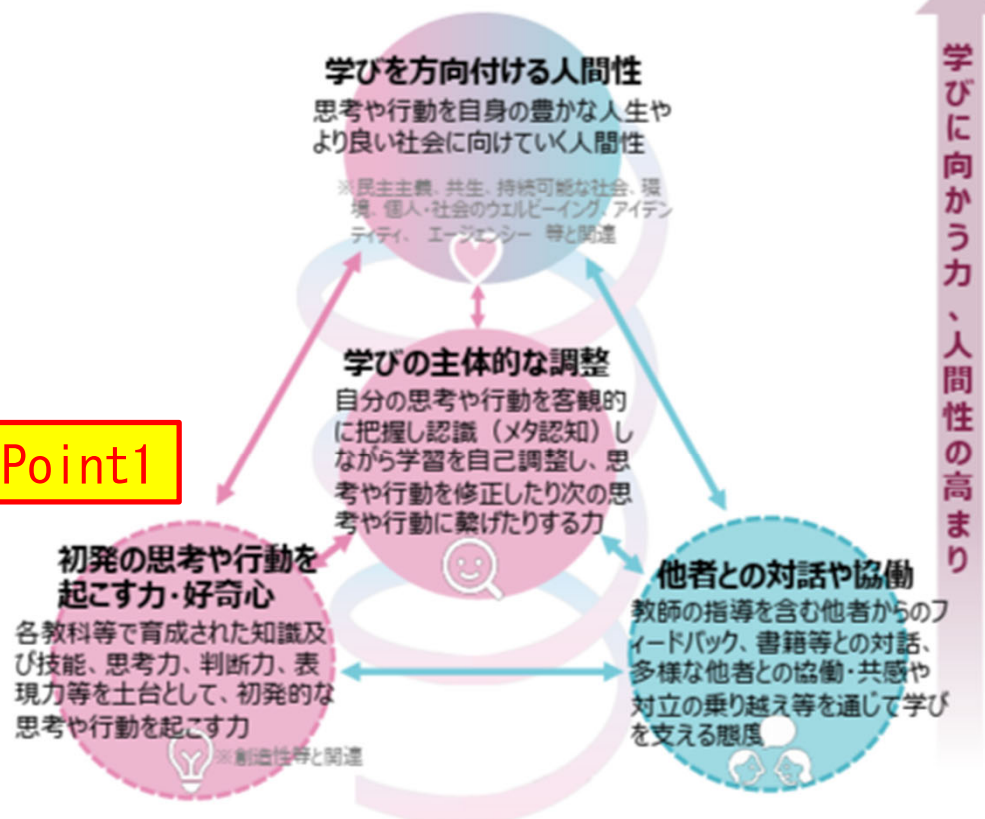
児童一人一人がよりよい社会や幸福な人生を切り拓いていくためには、主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力や、自己の感情や行動を統制する力、よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度等が必要となる。これらは、自分の思考や行動を主体的に学習に取り組む態度も含めた学び客観的に把握し認識する、いわゆる「メタ認知」に関わる力を含むものである。こうした力は、社会や生活の中で児童が様々な困難に直面する可能性を低くしたり、直面した困難への対処方法を見いだしたりできるようにすることにつながる重要な力である。

また、多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなどの人間性等に関するものも幅広く含まれる。

【今後の整理イメージ（素案）】

変化が激しい不確実な社会の中で、学びを通じて自分の人生を舵取りし、社会の中で多様な他者とともに生きる力を育む

Point1



【参考資料①-4】 人生や社会といった解のない問に向き合うための認知の過程について（インサイドアウト思考）

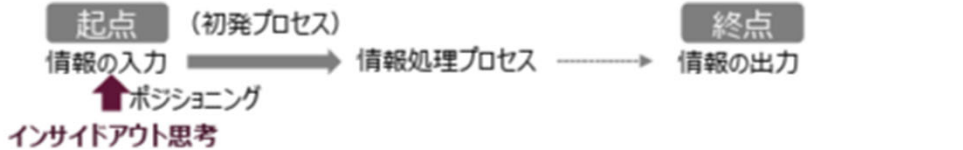
- ・ 溝上慎一氏は、終点がある程度見定められたところで推し進められる思考様式「アウトサイドイン思考」に対して、終点の一つに定まらない中で進められる思考を「インサイドアウト思考」と定義している。
- ・ 「インサイドアウト思考」は「原初的な創造的思考」の特徴を持ち、一般の人びとが日常で普通に行う思考であり、個性的な学習やライフを構築していく基礎となると指摘している。

溝上慎一「インサイドアウト思考 創造的な思考から個性的な学習・ライフの構築へ」

「インサイドアウト思考 (inside-out thinking)」

入力された情報（情報処理の起点）にポジショニングをして、そこからある情報を生み出す情報処理の初発プロセスを問題とする思考様式である」と定義

- ・ どこに向かっているか、どのような情報を出力するかはわからない中で進められるものである
- ・ インサイドアウト思考は終点としての結果が見えない中でなされるものであることから、それによって作り出された考えは、ゆるやかに「新しい考え」とみなすことができる。～（中略）それは「創造的思考 (creative thinking)」の概念に接近する。インサイドアウト思考は思考論の原点であるのみならず、思考論それ自体の持つ原初的な創造的思考の特徴を併せ持つものといえることにもなる
- ・ 原初的な創造的思考の特徴をインサイドアウト思考に付与する理由の一つは、～（中略）一般の人びとが日常で普通に行う思考として捉えたい



「アウトサイドイン思考 (outside-in thinking)」

「出力された情報、あるいは情報処理の途中であってもそこまで推し進められた情報（情報処理の終点）にポジショニングをして、起点から終点に至るプロセスを問題とする思考様式である」と定義



（出典）溝上慎一「インサイドアウト思考 創造的な思考から個性的な学習・ライフの構築へ」



【別紙】 学びに向かう力、人間性等の今後の整理イメージ（素案）

【現行の整理】

小学校学習指導要領総則解説（抜粋）

児童が「どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか」に関わる「学びに向かう力、人間性等」は、他の二つの柱をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素である。

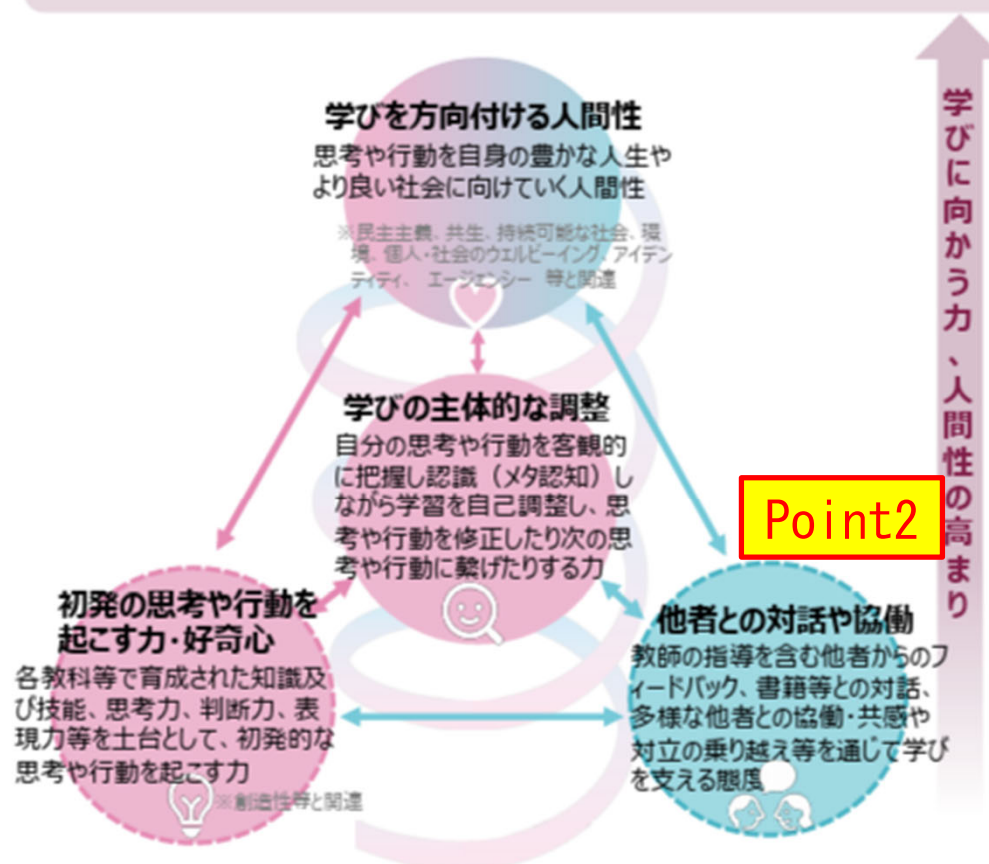
（中略）

児童一人一人がよりよい社会や幸福な人生を切り拓いていくためには、主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力や、自己の感情や行動を統制する力、よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度等が必要となる。これらは、自分の思考や行動を主体的に学習に取り組む態度も含めた学び客観的に把握し認識する、いわゆる「メタ認知」に関わる力を含むものである。こうした力は、社会や生活の中で児童が様々な困難に直面する可能性を低くしたり、直面した困難への対処方法を見いだしたりできるようにすることにつながる重要な力である。

また、多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなどの人間性等に関するものも幅広く含まれる。

【今後の整理イメージ（素案）】

変化が激しい不確実な社会の中で、学びを通じて自分の人生を舵取りし、社会の中で多様な他者とともに生きる力を育む



Point2



【別紙】 **学びに向かう力、人間性等の今後の整理イメージ（素案）**

【**現行の整理**】

小学校学習指導要領総則解説（抜粋）

児童が「どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか」に関わる「**学びに向かう力、人間性等**」は、他の二つの柱をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素である。

（中略）

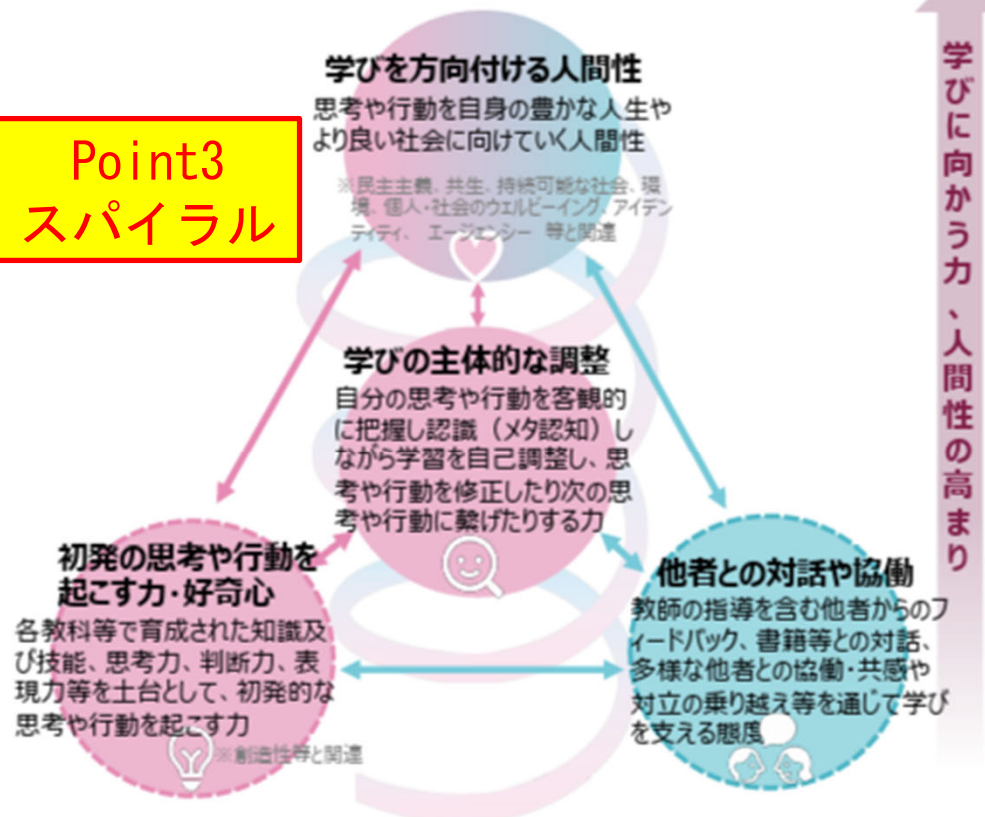
児童一人一人がよりよい社会や幸福な人生を切り拓いていくためには、**主体的に学習に取り組む態度**も含めた**学びに向かう力**や、自己の感情や行動を統制する力、よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度等が必要となる。これらは、自分の思考や行動を主体的に学習に取り組む態度も含めた**学び客観的に把握し認識する**、いわゆる「**メタ認知**」に関わる力を含むものである。こうした力は、社会や生活の中で児童が様々な困難に直面する可能性を低くしたり、直面した困難への対処方法を見いだしたりできるようにすることにつながる重要な力である。

また、多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなどの**人間性等**に関するものも幅広く含まれる。

【**今後の整理イメージ（素案）**】

変化が激しい不確実な社会の中で、**学びを通じて自分の人生を舵取りし、社会の中で多様な他者とともに生きる力を育む**

**Point3
スパイラル**



ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

